

事業報告書

事業名	芦屋の民話を紹介するオリジナル紙芝居の制作と上演、絵本の制作と配布
団体名	コケッコ
活動地域	1 (芦 屋) 市 2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町：)
協働団体	無し
事業の 目的・趣旨	芦屋市の民話には、それにちなんだ場所や地名が数多く残っており、話の信憑性が増す面白さがある。こどもたちをはじめとする地域の方々へより親しみやすい形で紹介することで、地元への関心と愛着を深め、市の発展に貢献できる人を一人でも多く育てたい。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・オリジナル絵本「あしやようかいものがたり『たろうとがたろう』」(県政 150 周年記念事業の補助金により制作)を増刷し、貸し出しできるよう配布した。 ・同作品の紙芝居をまだ紹介していない学校園・保育所等で上演し、高齢者施設や地域のイベントにも参加した。 ・同趣旨で市内のレストランやカフェスペースでも自らの紙芝居&絵本のイベントを行い、色々な年齢層(親子三世代参加、赤ちゃんも参加など)が楽しみながら交流、人と人がつながり「芦屋」を好きになってもらえる活動をした。 ・紙芝居講演で、がたろうに親しみを持ってくれた幼稚園が今年で閉園となり、子どもたちと、幼稚園を大切にしていた地域の方々へ、思い出となるストーリー「あしやようかいものがたり『がたろう〇〇ようちえんにいく』」を作り紙芝居を上演した。 ・リードあしやの紹介により芦屋東ライオンズクラブの例会において、普段紙芝居に参加されない年代層(芦屋市長をはじめ芦屋市の財政会の方々)にも見ていただけたことは、今後の活動にプラスになると期待したい。その際、インドネシア留学生の方のために英語版の絵本を作製(手作り)した。今後、小学校での英語の読み聞かせなどの機会に活用したい。

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	R元	6	5	芦屋市内	打合せ	3	
		7	4	芦屋市内	打合せ	3	
		7	6	リードあしや	打合せ	2	
		7	18	あゆみ幼稚園	紙芝居公演	3	34
		7	20	カフェにっち	紙芝居公演	5	16
		7	25	芦屋市民センター	芦屋市学校給食展	11	約 50
		7	26	芦屋市民センター	芦屋市学校給食展	12	約 36
		8	8	芦屋市内	打合せ	3	
		8	9	リードあしや	紙芝居公演	13	38
		8	9	芦屋市内	打合せ	2	
		8	29	芦屋市内	打合せ・入校準備	3	
		9	4	芦屋市内	入校	2	
		10	17	芦屋市内	打合せ	3	
		11	8	芦屋市役所	芦屋市立小・中学校へ配布	3	
		11	14	精道中学校	本の虫（芦屋市読み聞かせ連絡会）にて紹介	3	44
		12	6	芦屋市内	打合せ	3	
		12	10	ホテル竹園	打合せ・会場下見	2	
		12	11	リードあしや	打合せ	1	
		12	18	芦屋市役所	芦屋市立保育園・幼稚園及び 精道こども園へ配布	2	
		12	25	ホテル竹園	芦屋東ライオンズクラブ/紙芝 居公演	12	51
2	19	大阪市（天満橋）	まちライブラリーへ絵本寄贈	3	25		
2	26	朝日ヶ丘小学校	お楽しみ会/紙芝居公演	1			
2	28	芦屋市内	打合せ	3			
目標の 達成状況	<p>増刷した絵本の配布先は、芦屋市立小学校・中学校・幼稚園・保育園・図書館・精道こども園などで、学校図書室・市立図書館での貸し出しもできるようになった。</p> <p>カフェにっちでは高齢者、給食展やリードあしやでは小中学生から赤ちゃん連れのお母さんなど、幅広い方々に親しんでいただける機会を持つことができた。</p> <p>紙芝居講演の参加者は、延べ290名程だが、ライオンズクラブでの公演では、芦屋市長をはじめ市内の多方面（政財界）の方々を前に公演させていただき、今後の活動の礎となることを期待する。さらに、図書館で絵本を読まれた方を含むと、おおむね目標を達成できたが、まだ種をまいた段階と言える。</p>						

<p>事業効果</p>	<p>親しみやすい紙芝居や絵本で、色々な年齢層（親子三世代参加、赤ちゃんも参加）が楽しみながら交流、人と人がつながり、「芦屋」を好きになってもらえる活動へ。</p> <p>民話という昔の人が語り継いだ身近な文化に触れ、その歴史や風土に関心を持つことで、芦屋のすばらしさを再発見できる。その歴史を誇りに思い、ふるさと芦屋としての愛着を育てる。また民話にちなんだ場所を訪れてみたいという人たちは、ウォーキングがより楽しくなり、健康増進に役立つ。</p> <p>子どもたちをはじめとする地域の方々が地元への関心と愛着を深め、市の発展に貢献できる人を一人でも多く育てたい。</p>
<p>今後の展望</p>	<p>引き続き、絵本・紙芝居を通して大人も子どもも芦屋の民話を身近に感じ、芦屋大好きっ子が増えるきっかけ作りをしていきたい。</p> <p>また、幼稚園・保育所・高齢者施設といった特定の場だけでなく、カフェなどを利用し、家族や友人同士で行ける紙芝居イベント等を企画・運営することで、隠れた名所や言い伝えの紹介等を地域おこしの視点で行っていききたい。</p> <p>地域密着の活動をする中で、一人でも多くの人に芦屋の素晴らしさや親しみやすさを伝え続け、自ら地元を大切にしていける活動者を育成していきたいと思う。</p> <p>〈将来的には作品の続編を制作〉身近な場所や言い伝えを作品に取り込んだり、子どもたちの行事や生活も取り入れ、より身近で親近感のある作品を継続的に作っていききたい。地域の方々にしっかりと愛され根付いたものにし、心豊かな市民のあふれる素敵なまちをつくる手助けをしたい。</p>

【事業実施状況を示す写真】



事業報告書

事業名	多世代がふれあい、文芸に親しむ広場づくり・交流広場「すまいる浜風」
団体名	交流広場「すまいる浜風」運営委員会
活動地域	○1 (芦屋) 市 2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町：)
協働団体	芦屋市芦屋浜自治連合会 浜風コムスク (芦屋市立浜風小学校コミュニティスクール)
事業の目的・趣旨	ニュータウンとして存続してきた街を、「成熟したタウン」への再生助力。 都会型「ふるさと」のなかの、世代間交流の場の提供。 (前年度までに実施した各事業の目的を継続して標榜し、新委員の募集を行いながら、さらなる改善と深耕を続けて、ふるさとづくりを図る)
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・文芸・技とのふれあい事業 <ul style="list-style-type: none"> 「(歌い継ぐ) 唱歌、童謡、歌謡曲) みんなで唄おう会」 「(子供たちとの新しい行事) ハローウィン行事」 「(地域づくり) 地域夏祭り協力(夜店など会場づくり)」 「映画を楽しむ会」 「クリスマスリースづくり」 「防犯講話・落語」 ・みんなの健康、ふれあい促進事業 <ul style="list-style-type: none"> 「(花の街づくり) 花・庭作り実践教室」 (花時期に合わせて適時開催) <p>※森林浴ハイキングは令和2年に実施を検討していたが、市外からの参加者も予想されるため、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止</p>

【事業の実施状況を示す写真】



	令和	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	元	6	7	浜風集会所	「みんなで唄おうあの歌 この歌」初夏	7	37
	元	6	8	〃	「花・花壇づくり実践教室」	5	12
	元	7	9	〃	「お茶と懐かし映画を 楽しむ会」	7	32
	元	8	3	芦屋浜公園	「芦屋浜夏祭り」へ出店 たい焼き店	12	-
	元	8	30	浜風集会所	「みんなで唄おうあの歌 この歌」夏	7	49
	元	10	8	〃	「花・庭づくり実践教室」	6	15
	元	10	26	〃	ハロウィン行事 浜風小学校 協同巡り	10	168
	元	11	8	〃	「みんなで唄おうあの歌 この歌」秋	7	43
	元	12	2	浜風集会所	「クリスマスリース作り」	5	15
	2	1	17	〃	「みんなで唄おうあの歌 この歌」冬	6	46
	2	2	11	〃	「防犯講和・落語」 芦屋警察署より講師	7	16
目標の 達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予定した行事(イベント)を、諸般の事情により実施できないことが生じたが、開催回数については、期間外に実施したのも加えれば目標 14 回を達成した。各回の参加人数は目標 20 名を下回る回もあったが、平均すれば、目標を達成できた。 ・ 参加者数が増え、集会所室の収容数を超えることが多くなった。 						
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民の参加意欲を促すため、従来からのチラシ配布に加え、地域の自治連合会、老人会、子ども会との協働(イベント協力、支援、応援)を積極的に進めて、参加者の増加につながった。 ・ 地域資源としての伝統を持たない街で、現在の住民の持ちうる力を表出し、当地域を故郷(ふるさと)と呼べるような街づくりの一步となった。 						
今後の展望	<p>今年度も、世話人の減少(退任)が続き、計画した事業を縮小することもあった。もう一度体制の立て直しに注力して、継続していきたい。</p>						

事業報告書

(地域コミュニティ再生・活性化)

団体名	ジブングト協議会		
団体区分	①自治会		
事業名	「ICT ツール活用による新しい自治会運営の仕組みづくり」事業		
1 団体の現況、課題			
<p>団体の状況</p> <p>宮塚町、宮川町、茶屋之町の自治会加入率は概ね 80%を超えているが、マンション住民などには、どの地域の自治会に属しているか、いつ地域イベントが行われているかなどの情報が行き渡っておらず、イベント参加率は低い。さらに、運営スタッフへの参加はハードルが高く、自治会の次世代を担う者が少ないのが現況。</p> <p>また、地域の事業計画を立てる際に、大人数の召集に時間や労力を要し、企画が決定するまでの仕組みがアナログであることが課題だと考えている。</p>			
2 地域づくりアドバイザーの派遣を要した理由			
<p>マンション住民などに対しても魅力ある地域イベント、運営を行うために ICT ツールを利用し、スムーズな団体運営が必要と考えている。</p> <p>数多くある ICT ツールの中で、私たちの組織にマッチしたものを提案→使用方法説明→運用と定着するまでのサポートが必要だが、内部人材では専門知識に乏しいのでアドバイザーからの指導を要す。また、その運用が機能するための体制の確立も必要としており、チームビルディングの観点から指導を受けたいと考えている。</p> <p>さらに、イベント企画を魅力あるものにするため、デザイン的手法を取り入れ、SNS を利用した広報の指導も必要と考えている。</p>			
3 地域づくりアドバイザーの分野、所属・職・氏名			
分野	所属名	職名	氏名
業務効率化 チームビルディング 広報	g (グラム)	代表	横山 宗助氏
4 地域づくりアドバイザーの派遣により、達成した事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・ ICT ツール活用による、事務作業、連絡などの手間を短縮・効率化した。 ・ チームビルディングによってできた、今までにない魅力ある企画を実施した。 ・ 本事業で得た知見を、市民協働をテーマに 16p の小冊子にまとめ、500 部作成した。 ・ 作成した小冊子を活用し、自団体以外の自治会や市民団体の世代交代やスムーズな団体運営の参考にしてもらった。 ・ SNS で活動を発信したことによって、2 名が新たに加入し、今後のイベント時のスタッフとしての申し出もあった。 			

	年	月	日	場所	実施内容	地域づくりコーディネーター	
						時間	人数
事業経過	2019	6	25	芦屋市役所	キックオフミーティング	3	1
	2019	7	16	芦屋市役所	業務効率化 WS	3	1
	2019	8	6	芦屋市役所	業務効率化 WS	3	1
	2019	8	21	芦屋市役所	業務効率化 WS	3	1
	2019	9	5	芦屋市役所	業務効率化 WS	3	1
	2019	9	17	芦屋市役所	業務効率化 WS	3	1
	2019	10	7	芦屋市役所	チームビルディング WS	3	1
	2019	11	25	芦屋市役所	チームビルディング WS	3	1
	2019	12	6	芦屋市役所	チームビルディング WS	3	1
助言・指導内容	<p><議事概要> 行政の手の届きにくい課題、スピーディに解決しないといけない課題を担うのが、地域の市民団体であり、自治会の役目になる。行政と同じ目線や手順にならないように強く意識する必要がある。</p> <p><地域づくりコーディネーターから出された助言・指導内容> IT ツールを駆使して・日程調整・議事録・意見集約など管理にかかる時間と手間を出来るだけスムーズに行うようにすること。またその IT ツールは既存のサービスで十分活用できるが、LINE などのプライベートと重なる IT ツールはお勧めできない。参加者が集まり共有できる時間は限りがあるので「地域課題解決の具体的な施策」「まちづくりビジョン」のディスカッションに多くの時間を使えるように、意識する必要がある。</p> <p>自治会、市民活動は「賑わいづくり」を目的にするべきではない「地域課題解決」にならないといけない。そのために自分たちが持っているアイデンティティとコンセプトとビジョンを整理する必要がある。アイデンティティは、現在のメンバーの過去、特技などから導き出し、コンセプトは現在の取り組み方を表現し、全員で共通のビジョンを描かなければならない</p> <p><決定事項> ①Chat work の利用 ビジネス用のオンライン共有サービスを利用することでの団体内情報共有の円滑化 ②調整さんの利用 オンライン日程調整サービスの利用により、会議・イベントなどの日程調整の円滑化 ③グーグルドキュメント、スプレッドシートなどの利用</p>						

	<p>オンラインサービスを利用することで参加者全員へ共有をスピーディにする</p> <p>④目の前にある事業計画だけではなく、アイデンティティ、コンセプト、ビジョンを常に整理していく</p>
<p>事業効果</p>	<p>①IT ツールの利用により、管理がスムーズになり集まっている時間のほとんどを自団体のビジョンや事業計画の建設的なディスカッションにあてられるようになった。</p> <p>②全員が共通のツールを利用、認識できることで今まで煩雑だった運用がシンプルになった。</p> <p>(例：連絡方法>電話、FAX、LINE、Eメール→chat work)</p> <p>③管理がスムーズになることでできた時間をイベント企画のディスカッションに使うことができた。</p> <p>実質的なディスカッションに時間を割く会議の進め方、「賑わいづくり」だけで終わらない地域のイベントの作り方をコーディネーターと約1年進めることができたことで、来年度以降も同じレベル以上の「地域づくり」を実行できるようになった。来年度、自治会のお年寄りの方へICTツール指導の依頼があり、今後も自治会活動へのサポートをしていく。</p>

【事業の実施状況を示す写真】



事業報告書

事業名	沖縄文化セミナー「平成のオキナワ」
団体名	特定非営利活動法人関西沖縄文化研究会
活動地域	1 () 市 2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町：阪神間全域)
協働団体	
事業の 目的・趣旨	<p>沖縄県最後の官選知事が兵庫県出身の島田叡氏であること、兵庫と沖縄が友愛県提携を結んで47年経つこと。それらの歴史を踏まえたうえで兵庫と沖縄の関係性を再認識する時間を提供し、文化的心情を活性化させる一助になる。</p> <p>内容を「沖縄学」の一環として、平成に生まれ育った講師に「平成の沖縄」の実情を語ってもらうことで、現在の生活、自分の時間軸と重ね合わせて物事を考えることができる。</p>
事業内容	<p>先に沖縄のNPOの活動内容の説明と琉球時代の大まかな歴史、戦後から現在にかけての様々な出来事などについて解説。</p> <p>その後、大城貴幸氏、池間北斗氏に登壇。</p> <p>「3週間前の首里城焼失」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在のそれぞれの思い ・芸能関係者は首里城をどのようにとらえていたか ・首里城周辺住民の声 ・大城氏(南城市大里出身)、池間氏(那覇市小禄出身)の地元の感じ方 ・高校生たちはどう見ていたか <p>「基地＝沖縄」とみられている現状について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本土側が見ている沖縄の姿 ・基地が沖縄のすべてではない ・基地のない街で育った私たちは… <p>「琉球王朝時代から続く芸能」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典音楽演奏 ・守るべき伝統と次に繋いでいく創作 ・琉球楽器の可能性 <p>途中、さんぴん茶と由緒ある老舗琉球菓子店のちんすこうでリラックスタイムを兼ねて質疑応答時間とした。</p>

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	1	9		尼崎総合文化センター会議室	ホームページ・フェイスブックにて告知 募集受付	8	50
		11	23		沖縄文化セミナー「平成のオキナワ」		
目標の達成状況	<p>ホームページやフェイスブックの告知は予想以上に多くの方が閲覧していた。コメントや問い合わせを見ると、県外からのものがほとんどであった。はがきDM送付やチラシでの告知場所を増やしたりしたが、紅葉シーズンの連休中の開催でもあったため、集客率50%という状況となってしまった。</p>						
事業効果	<p>市民の参加をはじめ、西宮、伊丹、川西、宝塚、寝屋川、東京、沖縄といった広範囲からの参加者は、沖縄の知識の豊富な人もいれば、テレビで見る沖縄しかわからないといった人もおり、各テーブルで会話が弾み交流を深めていた。今回の会場は円卓になっており、会場全体が自然に話のしやすい雰囲気を出していたと思う。また首里城焼失の話題から、尼崎城内に募金箱が設置されたといった話が市民から出たことで、改めて尼崎城の存在が話題の中心となることもあり、思う以上に効果はあった。</p>						
今後の展望	<p>尼崎市民まつりでチラシを置かせてもらったが、市民の参加数はそれほど多くなかったため、より市民に密着した集客につながる場所での宣伝方法を考えていきたい。また、新たに協力関係の築ける団体との交流を持ち、事業が安定して開催できるようにしていきたい。</p>						

【事業の実施状況を示す写真】



事業報告書

事業名	第8回・阪急武庫之荘駅前ロータリー祭り
団体名	武庫之荘水と緑のまちづくりプロジェクト実行委員会
活動地域	① (尼崎市) 市 2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町:)
協働団体	
事業の目的・趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者団体・介護事業所などに祭りに主体的に担っていただき、障害者・高齢者が利用しやすい駅前広場の環境づくりを目指す。(ユニバーサル社会) ・ 第8回ロータリー祭りでは、地元の小中高校生の吹奏楽やバトンの出場、地元事業所のグルメ店の出店、市民参加のフリーマーケットの開催等で武庫之荘の魅力を伝える。 ・ 北口ロータリー安全対策にあわせ、昭和歴史遺産の北口希望像のリフォームを先行し、その後南口の Gondola 噴水もリニューアルを図り、街の歴史を若い世代に受け継ぐ。 ・ 放置自転車で最後の課題となっている駅前事業所利用者用一時駐輪場の設置。 ・ 月例の啓発活動を通じ、「マナー向上が光る駅前広場」の実現や、前回提案・着手された地域の歴史振り返り活動の一環としてロータリー祭りでは子供達への地域伝説文化(富松の鬼・茨木童子)の継承に向けて紙芝居と交通ルールマナー向上に富松の鬼を登場させる。 <p>上記の活動を通じ、地域コミュニケーションの再生と駅前の環境改善、賑わいのあるまちづくりを目指す。</p>
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「第8回武庫之荘駅前ロータリー祭り」 と き : 2019年11月23日(土) 10:30~15:30 と ころ : 阪急武庫之荘駅前北側・南側ロータリー 内 容 : 一般市民を対象に自転車交通ルールと盗難防止の啓発活動、パレード等 2. 自転車マナーキャンペーン 2019年9月から2020年1月(毎月第2水曜日) 一般市民を対象にティッシュの配布、放置自転車へのタグ付けを実施 3. 駅前花壇清掃 2019年9月から2020年1月(毎月第4水曜日)に、駅前花壇の清掃を実施 4. 水路清掃 2019年9月から2020年1月(毎月第2土曜日)に、駅北水路の清掃を実施 5. 北口「希望の像」リフォーム 昭和43年に設置された奈良青雲氏の「希望の像」は、設置以来メンテナンスされておらず、損傷や汚れが目立っていたが、リフォームと像の紹介のサイン板を設置し、「ロータリー祭り」では、そのお披露目式を開催した。

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	元	9	25	西富松会館	実行委員会	15	
		10	21	西富松会館	実行委員会	19	
		11	20	西富松会館	実行委員会	20	
		12	14	西富松会館	実行委員会	14	
	2 元	9	11	武庫之荘駅周辺	自転車マナーキャンペーン	23	
		10	09	武庫之荘駅周辺	自転車マナーキャンペーン	32	
		11	13	武庫之荘駅周辺	自転車マナーキャンペーン	26	
		12	11	武庫之荘駅周辺	自転車マナーキャンペーン	31	
		9	14	武庫之荘駅北水路	水路清掃	5	
		11	09	武庫之荘駅北水路	水路清掃	5	
		12	14	武庫之荘駅北水路	水路清掃	4	
		1	11	武庫之荘駅北水路	水路清掃	4	
	9	25	武庫之荘駅北側	ロータリー草取り等清掃	25		
	10	23	武庫之荘駅北側	ロータリー草取り等清掃	15		
	11	20	武庫之荘駅北側	ロータリー草取り等清掃	16		
	11	23	武庫之荘駅前	第8回駅前ロータリー祭り	150	6,000	
目標の 達成状況	「第8回駅前ロータリー祭り」は晴天に恵まれ、多くの家族連れで賑わい、目標人数6,000人も十分達成された。						
事業効果	<ol style="list-style-type: none"> 障がい者や高齢者が安心して暮らせるユニバーサル社会を目指す取り組みとして、障がい者3団体に出店していただき、各作業所で作成している製品や作品を販売し、各団体の資金確保に一定の効果があつた。また、準備段階から自治会、障がい者団体、介護事業所も交えて開催目的等も含め議論を交わし、交流を深める場にもなった。 地域の学校の吹奏楽部演奏と幼稚園・保育所の絵画展は既に定着しているが、6000人規模が集まる大きなイベントとして街の魅力発信の一助となっている。 昭和歴史遺産である北口の希望像のリフォームと共に、設置の経緯を書いたサイン板設置により、希望像の設置の経緯がその場で理解できるようになり好評であった。 放置自転車・自転車盗難は改善してきているが、引き続き自転車マナー啓発活動とあわせて駐輪場整備等のハード面の対策が必要だと考えている。 						
今後の展望	地域の祭りとして定着し、賑わいづくりや地域コミュニティの醸成に一定の役割を果たしており、今後もユニバーサル社会を目指して障がい者団体や介護事業所と連携し交流を深めながら継続実施したい。						

子ども広場には、伝統的な遊びやご当地クイズコーナーなど武庫之荘の魅力を広めるコーナーを開設した。今後も街の伝統文化などの魅力発信を継続していきたい。

資金面では、役員の高齢化もあり協賛カンパ募集に苦戦している。支出面の節減努力をしているが、多くを占める警備費・会場設営費は節約が難しく、ロータリー祭りの継続と合わせ若い世代の参画が課題であり、呼びかけ等の努力が必要である。

【事業の実施状況を示す写真】



事業報告書

事業名	人つむぎ尼つむぎ～みんなで認知症について考えよう～
団体名	人つむぎ尼つむぎ～みんなで認知症について考えよう～実行委員会
活動地域	① (尼崎) 市 2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町:)
協働団体	社会福祉法人きらくえん(けま喜楽苑・喜楽苑) 地域包括支援センター(中央東・中央西・小田南・武庫東) 猪名寺長生クラブ連絡会
事業の 目的・趣旨	認知症に関する地域包括支援センター、事業所の取り組み、認知症予防に関するまちの取り組み、認知症予防に関する講演会等を同時開催することにより、認知症に関する普及啓発を図る。また、今後地域で活動する人やグループを増やし、コミュニティの活性化を図るきっかけの場とする。
事業内容	<p>認知症をテーマとしたイベント R2.1.25(10:00～16:00)</p> <p>〈午前の部〉</p> <p>1. 活動紹介</p> <p>(1) 尼崎市地域包括支援センター(中央東・中央西・小田南・武庫東)</p> <p>(2) 社会福祉法人きらくえん けま喜楽苑の取り組み</p> <p>(3) 認知症予防運動に関する講演 テーマ: いつまでも元気であるための身体活動と運動 講師: 園田学園女子大学 教授 藤澤政美</p> <p>2. 認知症に関する相談</p> <p>3. タッチパネル式認知症簡易検査</p> <p>(午後の部)</p> <p>1. 活動報告(地域で取り組む運動) 水無月の会、あま体操絆、つむぎサークル</p> <p>2. 認知症予防に関する講演 テーマ: 認知症、備えの道標 講師: 柿木認知症診療所開設準備室長 前兵庫県健康福祉部参事 柿木達也</p>

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	R1	9	28	中央北生涯学習 プラザ	第1回実行委員会 会場確認、役割分担、協力団体との調整、予算等について	4	4
		10	12	中難波福祉会館	第2回実行委員会 実施内容の確認、講師との調整状況等について	3	15
		11	9	〃	第3回実行委員会 広報、ポスターについて 講演テーマについて 準備物の確認	3	2
		12	26	〃	第4回実行委員会 当日の役割分担等について	4	3
	R2	1	24	中央北生涯学習 プラザ	会場設営	6	
		1	25	〃	イベント当日	11	243
目標の達成状況	<p>1. 参加者数 目標 350人 → 実績 243人</p> <p>2. 認知症予防及びその運動の取り組み方と効果を、参加者の間で確認・共有することができた</p>						
事業効果	<p>1. 地域包括支援センター、特別養護老人ホーム、老人保健施設等の取り組みを知ることにより、地域の方々が相談しやすくなった。</p> <p>2. 運動に関する知識・実践等により認知症予防に関する意識が高まった。</p> <p>3. まちの取り組みについて報告したグループは、他のグループの活動状況を知ることができ、活動継続のモチベーションを維持することができた。</p> <p>4. 住み慣れた地域で誰もが自分らしく生活できるようにすると同時にそのためのコミュニティの活性化を図る効果があったと思われる。</p>						
今後の展望	<p>フレイル・認知症予防の運動や活動を今後も継続することにより、認知症に関する知識・活動の普及啓発を図りたい。</p> <p>地域で活動する人、グループを増やすための異なるグループ間で連携した活動を行っていききたい。</p> <p>次回開催は、実施日、開催時間、周知方法等を検討し、より多くの人に参加してもらえるよう内容をより充実させたい。</p>						

【事業の実施状況を示す写真】



事業報告書

事業名	「塚口南 音楽フェスタ クリスマス2019」
団体名	NPO法人ええうた工房
活動地域	1 (尼崎) 市 2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町：)
協働団体	
事業の 目的・趣旨	<p>高齢化により地域住民の交流が疎になる傾向があり、住民間の交流に適した地域学習館の利用率も低い現状にあり、閉鎖的でなく誰もが参加できるイベントの開催が求められていると考えている。そのような現状を鑑み、同会場でのイベントを開催することで地域住民の交流を深めていきたい。</p> <p>また、音楽は多くの方が楽しめるものであり、その中でも「歌」は嫌いな方は少ないと思われるため、「歌」に絞った形のイベントを行い交流を図ることを目的とする。</p>
事業内容	<p>メインホールにおいて3つのクリスマスに因んだ演奏会を開催。</p> <p>1部は「声楽の世界 バリトン」として、南堀義光さんに男声の力強い歌声を披露していただき、感情を込めて涙を浮かべながら歌う場面は感動を誘っていた。</p> <p>2部は「声楽の世界 ソプラノ」として、播摩夏奈さんに女声の美しい歌声とミニミニの音楽劇「マッチ売りの少女」等を堪能していただいた。 途中のサプライズ曲が「ラジオ体操第一」で皆で実際に体操を行い、心のみならず体の健康にも繋がったと思われる。</p> <p>3部はお馴染みの「歌声ひろば」と称し参加者全員で観客も共に大きな声でリクエスト曲を歌った。今回のために歌集の歌も増やし、161曲のうち時間の関係で20曲ほどしか歌えなかったが、参加した子供からもリクエストがあり子ども向けの曲も歌うことができた。</p> <p>参加者は1部でも2部でも口ずさむ場面があり、3部では観客も共に合唱して楽しんだ。</p>

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	R 1	9	30	自宅等	チラシデータ打合せ	2	95
	R 1	11	1 ～	自宅等	プログラム打合せ および歌集作成	2	
	R 1	12	22	塚口南地域学習館	会場準備・リハーサル・本番	5	
目標の達成状況	<p>地域住民の親睦・交流を図るという意味での目標は達成したと言えるが、参加人数は前回（234名）を大幅に下回った。</p> <p>前回は上回る来場者数を目論んでいたが、当日は雨天ということで、外出を躊躇う方が多かったのではないかとと思われる。</p> <p>クリスマスイベントの重なる日程でもあったので、次回以降は日程についても検討したい。</p>						
事業効果	<p>参加人数的には前回は下回り大成功とは言えないが、新規の参加者も多く、新たな交流や親睦が図れたという意味では一定の効果があったと言える。「今度はいつ？」などの期待の声も聞かれた。</p>						
今後の展望	<p>今後も音楽を中心とした文化活動等を通じ、地域住民の交流の場となるようなイベントの開催を継続していきたい。</p> <p>費用負担の大きい専門家を招くだけでなく、自前のできる「歌声ひろば」のようなイベントを中心に行っていけば、効果の維持・拡大ができるのではないかと考えている。</p>						

【事業実施状況を示す写真】



事業報告書

事業名	子育て応援隊 大集合
団体名	特定非営利活動法人やんちゃんこ
活動地域	① (尼崎) 市 2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町:)
協働団体	
事業の 目的・趣旨	どうしても一人で悩みを抱え込んで子育て期を過ごすような今だからこそ、既存の団体が結束して、子どもたちに集う楽しさや人と関わる大切さを伝えていきたいと考えている。人と人とのつながり、温かさを発信していくことを目的とし、地域の団体に加えても企業も参画して体験活動や物作りの楽しさが感じられる機会を提供していきたい。
事業内容	<p>令和元年10月6日開催の尼崎市民まつりに、子どもたちが遊べる、体験ができるこどもだけのひろばを展開する。</p> <p>【ステージ】 中学生吹奏楽部の演奏、少年音楽隊の合唱とバトン競技、腹話術、ゆるキャラグリーティング、尼崎レンジャーによるヒーローショー 等</p> <p>【ブース】 ボーイスカウトのゲーム、ガールスカウトの手作りコーナー、やんちゃんこのゲーム、つどいの広場のクイズ大会、とちのき村の木エ工作、あまキッズくじびき、尼崎人材育成の手形カレンダー作り 等</p> <p>【グラウンド】 警察の自転車シミュレーター、トラック展示、忍者に変身体験ゲーム、ミニSL、尼崎城のふわふわ 等</p>

【事業の実施状況を示す写真】



	年	月	日	場所	実施内容	参加人数		
						スタッフ	参加者	
事業計画	1	9	11	やんちゃんこ	参加団体での会議	2	18	
			25	やんちゃんこ	参加団体での会議	2	18	
			10	2	やんちゃんこ	参加団体での会議	2	20
				5	橘球場	まつり準備	6	25
			6	橘球場	市民まつり開催	10	4500	
			9	やんちゃんこ	参加団体での会議	2	20	
			11	20	やんちゃんこ	参加団体での会議	2	20
				26	やんちゃんこ	参加団体のうち数人との確認	2	6
目標の達成状況	<p>午前10時から16時という長い時間、開催される市民まつりであったが、どの団体も事故やトラブル等がなく、安全に実施することができた。お天気も良かったので、トラック等の搬入・搬出もグラウンドを痛めることなくできた。広い球場内で提供できたので、子どもが安心して遊べるという場が確保できたので、最終的に4500人ほどの参加があり、見込みを大きく超えた。</p>							
事業効果	<p>参加してくれた団体は、普段尼崎市内の各地域で長く活動している団体であるため、尼崎で開催される大きなお祭りに一堂に会することで、多くの人に来てもらうことができた。また、他団体の活動を知ってもらう良いきっかけにもなった。</p> <p>また参加団体は子ども中心の団体であるため、会議を重ねて行くにつれて、お互いの活動内容や市内のいろいろな情報交換ができるようになり、おまつりが終わった後も各団体が関係している行事に参加してもらったり、子ども広場等集ってもらうところが出た。</p> <p>一度限りのイベントではなく、期待されていたようにその後も続いて子育て支援活動のきっかけとなる効果が見られた。</p>							
今後の展望	<p>子育て支援に関わっている団体同士のつながりができたことで、地域の情報や様子の共通理解ができた。また、団体自身が運営していく上での問題（広報の仕方や資金について等）や悩みも何かしらのヒントをもらうことができて、活動の幅を広げることにつながっていくと考える。</p> <p>今回の参加がいつもの各団体の活動よりも規模が大きいことで、会議に出席するメンバーに若い顔ぶれがみられたことから、今後の子育て支援活動への参加意欲や必要性が支援者の次世代に引き継がれたものと感じている。</p> <p>今後、各団体が協力し合い、また新しい地域での子育て支援活動が展開されるものと思う。</p>							

事業報告書

団体名	契沖の会
事業名	契沖顕彰短歌大会
活動地域	1 ()市 ② 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町：阪神間を中心として近畿一円)
協働団体	園田学園女子大学
事業の 目的・趣旨	<p>今年で17回目を迎える「契沖顕彰短歌大会」は、会員を含む一般社会人だけではなく、小学生、中学生、高校生からも短歌作品を募集している。</p> <p>特に、尼崎市を中心とした児童・生徒からの応募は、会から学校への働きかけの効果もあり例年1万首以上集まっており、これほどの数の短歌を毎年集めることができるのは全国的にも珍しいと自負している。</p> <p>また、短歌を創作することで語彙力・表現力を磨くことができ、日本の伝統文化への興味や再認識にもつながり、教育効果は高いと考えている。</p> <p>兵庫県だけでなく全国から広く作品募集を行い、契沖および功績の認知を広め、ひいては、契沖誕生の地であり事務局がある尼崎市の「短歌の街・尼崎市」というアピールにも繋がる。</p>
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 応募者の負担軽減 今年度から一般応募者の短歌応募料を一首1,000円から500円に引き下げ、負担軽減を図ることにより応募しやすくした。 2. 広報活動 会員にはもちろんのこと、以前応募のあった一般社会人宛てにDM(約500通)を送付、さらに市内12か所の生涯学習プラザ、選者の井谷先生、尼崎ロータリークラブ、プロバスクラブ、尼崎文化協会などにも短歌大会の募集要項を配布・配架依頼し、短歌の応募活動に協力していただいた。 児童・生徒の応募者を増やし維持していくための方策として、中学校国語研究会(70名)開催時に、副会長が赴き契沖の偉業を紹介し、短歌・契沖に触れる機会とした。 大学内でも応募要項を配架し、学生のみならず生涯学習受講者にも積極的に応募を呼び掛けた。 3. 選者による選考(令和元年10月～) 一般の部は選者(7名)に郵送による一次選考、12月末に二次選考を実施。 児童・生徒の部は教員OBに一次選考を依頼、その後選者にて二次選考を実施。 4. 大会当日(令和2年2月2日) 会員有志が運営スタッフとして受付・司会などを担当。選者、後援先代表者、受賞者とその保護者等が来場し、総来場者数は200名ほどとなった。 5. 大会後(令和2年2月10日～) 大会当日欠席の受賞者宛て、賞状(賞によっては楯も)を送付。

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	2019	9	14	園田学園女子大学	学習会・理事会等	2	10
		10	12	〃	学習会・理事会等	2	10
		10	20	〃	小・中・高 第一次選考	5	10
			～31	〃			
		11	9	〃	学習会・理事会等	2	10
		12		〃	短歌大会選者会	2	10
		12	14	〃	学習会・理事会等	2	10
	2020	1	11	〃	理事会等	2	10
		1	25	〃	理事会等	2	10
		2	1	〃	理事会・短歌大会準備	2	10
		2	2	〃	第17回契沖顕彰短歌大会	10	200
2		15	〃	学習会・理事会等	2	10	
目標の達成状況	<p>初めに掲げていた「応募総数 10,000 首以上」は大幅に達成。</p> <p>児童・生徒の部は昨年よりも人数・歌数ともに微減したが、一般の部は応募料引き下げの効果もあり、昨年よりも人数・歌数ともに増加した。</p> <p>応募料引き下げの影響で、応募料収入は昨年より下がったが、短歌大会の応募をきっかけに「契沖の会」に入会した参加者もあり、今後の活動継続に期待できる結果に繋がったものとする。</p> <p>応募者数：12,083 名、12,219 首 一般の部（1人5首まで応募可能） 80 名、216 首 児童・生徒の部（1人1首） 小学生 9,294 名 中学生 2,330 名 高校生 379 名</p>						
事業効果	<p>例年どおり、応募に対するモチベーションを上げる目的で、「契沖大賞」だけではなく、知事賞、教育長賞など多くの賞を設定することに成功した。</p> <p>事務局を大学内に置くことによって学術的になり、多くの学生・生涯学習受講者へのアピールに繋がった。</p> <p>経費については、昨年までは外部に作成依頼していた大会の案内板などを、できるだけ学内で作成するよう見直し、予算自体を軽くすることに成功した。</p> <p>応募総数についても、ここ数年は人数、歌数ともに減少していたが、今年度からの一般応募者の短歌応募料の引き下げにより、今年は人数、歌数ともに増加した。実際「友人にも応募を勧めやすくなった」という声もあり、応募へのハードルが下がったと思われる。</p>						
今後の展望	<p>今後は、学内の教育とリンクさせることで、卒業後も学生たちが兵庫県や尼崎市の文化の発信源となればと考える。具体例としては、現在、「俳句」を扱っている授業があるので、「短歌」も扱えないか教科担当に検討を依頼している。</p> <p>「契沖の会」を紙媒体以外でもアピールすべくホームページやSNSなどを利用して短歌大会や、普段の活動のPRにつなげたい。</p>						

【事業の実施状況を示す写真】



事業報告書

事業名	小田あばれ太鼓祭り
団体名	小田太鼓会
活動地域	① (尼崎) 市 2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町 :)
協働団体	
事業の 目的・趣旨	地域の文化的遺産の保存及び維持。地域連協・老人会・子供会・高校に協力していただくことにより、この祭りを通じて各世代の多くを取り込む。
事業内容	<p>10/13 尼崎小田高校前の道路使用許可により（約2時間通行止め）、各地域の太鼓台（山車）の演技を行った。</p> <p>賞の決定にあたり来場観客にも演技審査に参加してもらい、祭り会場の一体感を高めることができた。</p> <p>地域内の伝統文化の継承と、小田地区関係団体間の親睦を目的とするため、今回、新たに尼崎小田高校美術部と協力し太鼓祭りをテーマにした巨大壁画を作成し、展示した。</p> <p>また、尼崎小田高校吹奏楽部と共に地域を広く巻き込み地域に住んでいることへの満足感に繋がるよう演奏披露を行ったが、これにより地域一体の祭りの醸成ができた。併せて、小田あばれ太鼓祭りの認知度向上につなげることができた。</p> <p>令和2年「元日4社参りプロジェクト」は、2019年12月中旬頃には実施に向けて最終的な段階まで漕ぎつけていたが、4社のみならず小田地区他神社の参加を呼びかける調整に手間取り、今年の実施は見送ることとなった。</p> <p>現在、2021年元旦の実施に向けて調整準備を進めている。</p>

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	1	9	22	小田南公園	関西奄美会運動会太鼓参加	20	50
			10	6	尼崎小田高前	太鼓祭り会場設営のぼり設置	20
	10	13	尼崎小田高前	小田あばれ太鼓祭り	20	650	
				小田高校美術部壁画設営			
				小田高校美術部壁画展示			
	10	26	金楽寺会館	小田高吹奏学部演奏披露	20		
				小田太鼓会定例会 (令和2年カシタ-作成打合せ)			
11	23	長洲天満宮	小田太鼓会定例会(令和2年 元日4社参りプロジェクト外打合せ)	20			
12	1	長洲天満宮	元日4社参り運営委員会	20			
目標の 達成状況	<p>目標観客数800人を目指していたが、台風の影響もあり観客数650人とどまった。一方、「元日4社参りプロジェクト」は、最終段階まで検討したものの、実施困難との判断で延期が決まり禍根を残すこととなった。</p>						
事業効果	<p>10月13日の小田あばれ太鼓祭りは、多くの観客と演技者の一体感を得られ、地域の伝統文化について認知度の向上と共に地域一体の祭りの醸成ができ、成功に終わった。また、尼崎小田高校との協力により地域を巻き込む活動ができたことで、地域の伝統文化の保存及び維持に大きく貢献したと考えている。</p> <p>また、この活動を通じて幅広い世代を多く取り込むことができた。</p>						
今後の展望	<p>少子高齢化が進む地域において、新規の定住を促すよう更なる取り組みが必要である。地域団体、学校、商店街等とも相互協力し、接点の少ない各世代間の交流を図り、伝統文化の継承・維持に繋がる取り組みを検討していく。</p> <p>また、尼崎小田地域だけでなく、市外、兵庫県内、近畿一円、全国へ向けて情報発信を行い。岸和田だんじり祭りや博多どんたくのように全国規模の観客動員を狙う。</p>						

【事業の実施状況を示す写真】



事業報告書

事業名	小田南地域子どもフェスタ（親子まつり）
団体名	こどもフェスタ実行委員会
活動地域	1 （ 尼崎 ） 市 2 地域団体が所在する市域以上の広域 （対象市町： ）
協働団体	
事業の 目的・趣旨	従来からあった子ども会や児童ホーム父母の会、保育所父母会などの組織活動が減ってきている。また、地域の中でのあそび場も減っている。 そのため、無料のあそび場の提供を趣旨とするフェスタを開催する。 子どもに携わる各組織に呼びかけ、趣旨に賛同する各組織で実行委員会形式により運営し、子どもが安心安全に遊べる親子まつりを開催する。
事業内容	11月17日（日）常光寺南公園において子どもフェスタ（親子まつり）開催 <ul style="list-style-type: none"> ・昔あそび、手作りおもちゃ体験コーナー ・けん玉大会や縄跳び大会の参加型イベント ・大道芸、吹奏楽演奏披露 ・太鼓体験&演奏

【事業の実施状況を示す写真】



	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	R1	9	27	杉の子保育園分園	第一回実行委員会	3	10
		10	14		太鼓練習	3	5
			27		太鼓練習	3	5
		11	3		太鼓練習	3	5
		11	17	常光寺南公園	子どもフェスタ	20	200
	12	6	杉の子保育園分園	第2回実行委員会（総括）	3	10	
目標の達成状況	大人と子どもを含め200人の参加目標を達成した。						
事業効果	<p>児童ホームの指導員や地域の保育所の保育士が参加し、昔あそびコーナーでは手作りのおもちゃを共に作成するなど、地域の子どもや親子がたくさん参加して伝承遊びを楽しむことができた。</p> <p>また、少年団の中学生や小学校高学年の子どもたちが、借り物競争などのあそびをしてくれ、幅広い層の子ども同士が交流する機会となった。</p> <p>舞台では、幼児の出し物、太鼓の演奏&体験、けん玉大会など老若男女、幅広い層の交流活動ができた。</p>						
今後の展望	<p>地域の子ども会や自治会などにも声掛けを行ったが、個人参加のみになってしまったので、団体としての参加を促すよう今後働きかけていきたい。</p> <p>また、地域の学校の吹奏楽部などは今回日程が合わなかったが、来年また働きかけ更に幅広い年齢がつながる交流の場としていきたいと考えている。</p>						

事業報告書

事業名	地域で取り組む「ペットと高齢者問題」プロジェクト
団体名	特定非営利活動法人C. O. N
活動地域	① (尼崎) 市 2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町 :)
協働団体	
事業の 目的・趣旨	<p>認知症などでペットの世話ができなくなったり、入院や施設入居で犬や猫が取り残される事例が急増しており、多頭飼育崩壊も相次ぎ環境悪化も起きている。</p> <p>高齢者とペット問題について、地域や関連部署と問題を共有できる機会をつくり、早期発見、早期支援できる仕組みづくりとともに、相談を受けて支援にあたる支援ボランティアの人材を育成していく。</p>
事業内容	<p>① ペットと高齢者相談窓口を開設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談電話(9時～18時) ・相談件:14件 ・相談者:一般市民、司法書士(後見人)、地域包括支援センター、病院、介護施設 <p>② ボランティアリーダー養成講座の開催(10/26、10/27、1/26)</p> <p>人と動物にまつわる様々な問題について、相談対応や具体的な支援ができる人材育成のため、専門家等を招き基本的知識を学ぶボランティア養成講座を開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10/26 第1回ボランティアリーダー養成講座 テーマ 地域猫Ⅰ 講師 高木優治(新宿区人と猫との調和のとれたまちづくり連絡協議会顧問 元新宿区保健所職員) 杉野千恵子(NP 法人神戸猫ネット理事長) ・10/27 第2回ボランティアリーダー養成講座 テーマ 地域猫Ⅱ 講師 高木優治 宮崎誠(広島県愛玩協会代表) ・1/26 第3回ボランティアリーダー養成講座 テーマ 人とペットの災害対策 講師 高木優治 西風直美(兵庫県動物愛護推進員) <p>③ ペットと高齢者セミナーを開催。(2/23)</p> <ul style="list-style-type: none"> テーマ 万が一に備える 講師 桑畑正和(行政書士)

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	19	10	6	事務所	運営会議	7	28
			25	事務所	運営会議（資料作成）	3	
			26	エコーペットビジ ネス総合学院	第1回ボランティアリーダー 養成講座	7	
			27	小田北生涯学 習プラザ	第2回ボランティアリーダー 養成講座	7	
	20	1	25	事務所	運営会議（打合せ、資料作成）	7	30
			26	尼崎総合文化 センター	第3回ボランティアリーダー 養成講座	8	
		2	15	事務所	運営会議	5	20
			23	生涯学習プラザ	ペットと高齢者セミナー	8	
目標の 達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ ペットと高齢者相談窓口 目標) 常設 → 実績) 常設 10時～18時 相談件数 14件 ・ ボランティアリーダー養成講座2回 目標) 参加者50人 → 実績) 3回開催参加者83人 ・ ペットと高齢者セミナー 目標) 参加者50人 → 実績) 20人 						
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 相談窓口を設置したことで、高齢者の後見人となっている司法書士や地域包括支援センター、病院、介護施設からの相談に対応することができた。このつながりをもとに、問題解決の「場」ができたと思われる。 ➤ ボランティアリーダー養成講座には、若い方々が継続参加してくれた。参加者間で情報交換しながら、相談しあえる繋がりをつくることができた。また、学んだことを地域に持ち帰り、町会で活用したい、もっと色んなことを勉強したいという声が多く聞かれた。人材育成の第一歩として、よい機会となった。 						
今後の展望	<p>ペットと高齢者相談窓口については、引き続き電話相談を継続し、相談事例の報告書を作成するとともに、一般市民、福祉関係の部署へ配布し、さらに早期発見・早期支援を推進していきたい。</p> <p>福祉の現場において、高齢化とペットの問題が切り離せない状況になってきているので、ボランティアリーダー養成講座では、福祉関連をテーマにした講座を開催していく。</p> <p>人と動物にまつわる様々な問題に対応できる人材育成を進めていきたい。加えて、高齢者とペット問題の具体的な解決策を打ち出していきたい。</p>						


【事業の実施状況を示す写真】



事業報告書

事業名	『魅力ある園田のまちづくり・ランドデザインの提案と実践』 —猪名の里・田園都市構想：Garden City Movement—
団体名	園田まちづくり委員会
活動地域	① (尼 崎) 市 2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町：)
協働団体	NPO法人尼崎-夢まち-委員会
事業の 目的・趣旨	① シチズンシップとまちの魅力の向上を目的に、行政主導から市民主体による、まちづくりのアイデアを事前に提案し、情報公開によって、行政・市民双方の意識化を図りつつ、具体的な事業化を検証する。 ② 市内6行政区で一律の公共サービスを楽しむのではなく、各々地区ごとに、その地域に見合ったサービスやまちづくりの為のアイデアなど、魅力ある地元園田のまちづくり・ランドデザインを企画・提案する。
事業内容	① 地域の共通課題である、水害等の防災をテーマにした安心・安全のまちづくりを具現化する為の（総合治水・防災拠点施設立地等）、園田地域全体の広域的まちづくりガイドマップとして、インフラ整備計画等、実践的な活用を試みる。 ② 地域の特性や地元の歴史を認識し、園田地域をPRできる観光ガイドマップとしての歴史的・文化的検証やイベント情報の発信等、実践的な活用を試みる。 ③ 幅広い地域の課題解決と、想定されるニーズに基づくまちづくり・郷土創生を試案する為のガイドラインと成る、園田のランドデザインを、『まちづくり・観光ガイドマップ’ 19』の具体的な検証を基にリファイン、行政と市民によるパートナーシップに基づく協働提案と、更に具体的総合的まちづくりを実践。同マップは園田地域の関係町会・自治会へ回覧する（各総部数：1,000部） ④ 限られた避難所（定員）を周知し、効率的な避難行動を誘導する為の社会的秩序と体制（コミュニティ）を計画的に形成して行く際のガイドラインとする。 ⑤ 地元を自慢できる園田の特性を周知し、地域の商店や学校関係、協力企業等との連携を具体的に提案・実践し、観光の視点でまちの賑わいをプロモートする。 ⑥ 官・民双方の効率的な公共サービスへの理解と周知、都市機能の補充と分担を検討する等、園田地域の広域的連携と共生を考える事で、コンパクトにして住みたいまち・園田モデルを協働提案する。今後更なるまちづくり情報の発信と充実を図る中、まちの将来像の検証に向け、ワークショップの結果（アイデア）を参考にし、段階的かつ具体的に提案・実践を試みる。（企画・プロデュース） 1. 特定の個人、団体、一地区の利害だけを考える事なく、あくまで園田地域全体の利益や社会貢献となる、まちづくり活動を提案・実践する。 2. まちを総合的に整備する為の計画・デザイン・運営を、市民の目線で提案し、行政と市民が協力して「都市計画」と「まちづくり」の連続的一体化を図る。 3. 園田まちづくり委員会の定例会議（理事会）で、一般公開するまちづくり会議（学習会・ワークショップ等）を通して、あらゆる情報を共有し、参画・協働を呼び掛ける。

事業報告 令和	年	月	日	場所	実施（研修）内容	参加者状況																																																															
						地域団体	参加者																																																														
元	6	30	東園田町 総合会館	新たな地域振興体制とその進 捗状況について	地域課 協働推進 道路整備	松原課長 西田課長																																																															
							7	24	若王寺福祉 会館	阪急園田駅前ロータリー開発 進捗状況と計画・構想について	道路整備	佐田課長 森田係長																																																									
													8	25	富田高安会館	自然林利権富池保全⇒公園課	当委員会	時水理事																																																			
																			9	27	東塚口町 1丁目福祉会館	地域振興センターが行政窓口 地域住民・団体と行政が協働 ⇒委員会は地域のコーディネーター役	当委員会	前田代表																																													
																									10	27	椎堂福祉会館	河川敷親水公園の可能性 ⇒「園田地域の水辺活用」	河川事務所 公園課	川西技官																																							
																															11	8	地域振興センター	園田駅前開発に関するアドバイス ⇒道路維持課と意見交換実施	園田支所 地域課	益田所長 松原課長																																	
																																					24	下食満 福祉会館	「住みよい街」人気ランキング 尼崎市⇒144位/341市区	当委員会	堀江代表																												
																																										12	9	東園田町 総合会館	園田駅前道路整備関係者懇談 駅前・周辺環境の整備に理解 地元町会・商店街が主体となる	阪急電鉄 商店会 東園田町 乗馬クラブ クレーン	3名 4名 地区長 原田役員 太田次長 楠本代理																						
																																																21	園田競馬場 第5駐車場	現地視察と懇談 1万㎡以上の用地を必要とする 条件で開設運営の可能性在り	道路整備	森田係長 佐田担当																	
																																																					22	東園田町 総合会館	園田駅前道路整備の進捗状況 ⇒年度内に詳細設計完了予定	道路整備	藤井課長 岩佐係長												
																																																										2	1	18	若王寺福祉 会館	阪急園田駅前道路整備計画 ⇒地元関係者の協議会を設立	都市計画	松本会長					
																																																																	29	尼崎信用金庫 園田支店 3F	阪急園田駅前まちづくり会議 地元商店会中心に協議会設立 『魅力ある園田のまちづくり』 ①阪急園田駅前ロータリーの可能性 ⇒バスターミナルの提案等を機会に 東園田地区のまちづくりを検証 ②猪名川・藻川河川敷の活用 ⇒親水公園を提案 ③猪名川自然林の保全と活用 ⇒野外文化施設を提案 [生物館・音楽堂・アスレチック公園] ④園田競馬場の活用 ⇒防災拠点と乗馬センターを提案 ⑤農業水路・治水池等の活用 ⇒ピットパーク公園を提案 ⑥阪急神戸線高架の可能性 ⇒南北のコミュニティ・交通の流動化 ・内水氾濫の軽減化	商店会 商友会 当委員会	事務局 村田

	2	1	29	尼崎信用金庫 園田支店 3F	グランドデザインの提案と実践 まちづくり・自治活動の必要性 <ul style="list-style-type: none"> ● 行政と連携できるシステム ● 行政・市民とのパートナーシップ ● 地域振興センターを窓口 ● 縦割行政⇒横の連携を演出 ● 地元市民がまちづくり主役 ⇒「委員会をサポート役」 	当委員会 堀江代表 当委員会 坂口代表	
					駅前整備に関する情報は必要 地元商店会の情報共有を考慮	商店会 いのうえ 徳永兄弟	
					広く市民に情報発信（SNS等） 駅前公共空間をコミュニティの場に	園田逸品 研究会	松 井
					駅前周辺の環境整備が重要課題 北側の空地（商用地）情報あり	まち協	山 一 不動産 坂 田
					今後も地元商店会活動を支援	商友会	尼崎信金 向井次長
					市民の権利と行政の意向確認 まちづくり委員会のリーディング	まち協	地主 生 島
					駅前道路整備⇒地域への影響 [商業活動や住環境に変化]	商友会	野 村 副会長
					⇒行政との連携が必要 ⇒意見交換の場を設定 <ul style="list-style-type: none"> ● 商店街を中心にまちづくり 	当委員会	坂口代表
					⇒まちづくり協議会の設立へ	商友会	松本会長
					商店会主体に準備委員会立上 <ul style="list-style-type: none"> ● 今後の活動（呼掛）の主体 	当委員会	事務局 村 田
							
					『阪急園田駅周辺会議』準備委員会の設立		
					3/4（水）14:00～16:00 予定 <ul style="list-style-type: none"> ● 準備委員会の設立 ● まちづくりアンケート実施 ● 学習会：園田駅前道路整備 ● 今後の活動（呼掛）の主体 『園田駅周辺会議』実行委員会	商友会 道路整備 都市計画	松本会長 森田係長 佐田担当 藤井課長 岩佐係長

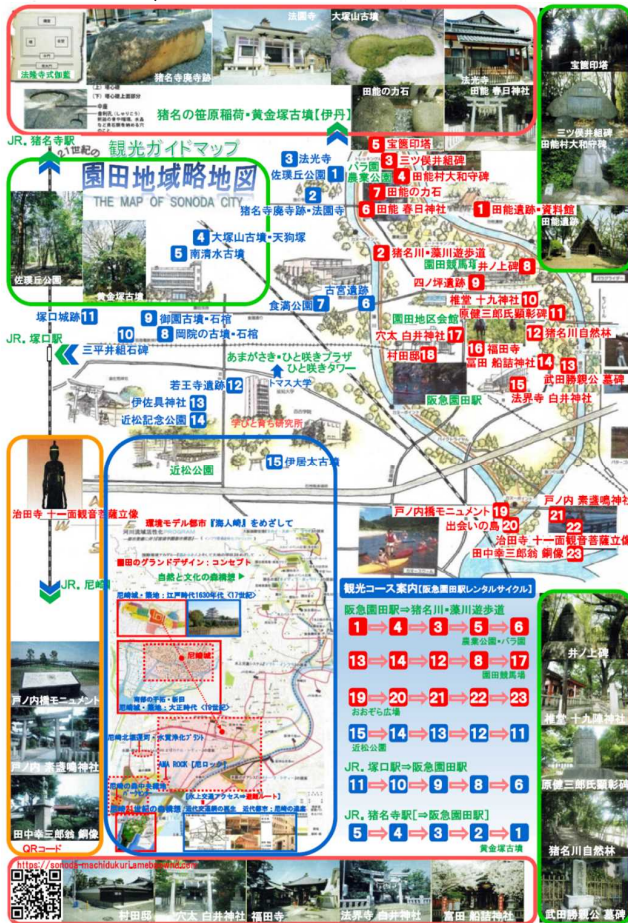
2	1	31	東園田町 総合会館	阪急園田駅前開発紹介と懇談 ⇒阪急阪神不動産の開発事業 ①小林一三氏以来の宅地開発 「大衆が主人公となれる社会」 ②駅周辺のまちづくりを支援 ③今後まちづくり会議に参加 ④商店街・道路整備現状視察 「商店街がまちづくりの主役」 ⇒阪急園田駅前開発の可能性 ⇒駅と商店街を結ぶ空中廊下 ⇒阪急園田駅周辺会議の創設	海外事業 本 部 用地開発 紹介者 ランドワークス 商店会 当委員会 事務局	執行役員 戸田部長 江口課長 前川担当 建築設計 石川技士 松本会長 坂口代表 村 田
	2	24	富田高安会館	第4回総会 準備会議 一部「園田まちづくり講演会」 テーマ:「園田まちづくりビジョン」 阪急園田駅周辺のまちづくり 研究報告とその他の事例紹介 講師:川端 基夫 【関西学院大学商学部 教授】 [研究テーマ:日本の小売・外食・ サービス業の海外進出等、国際 マーケティングのあり方を模索] 二部「通常総会」 事業報告・会計監査報告・他 『まちづくり・ガイドマップ』 ⇒改訂版作成(印刷)1,000部 事業予定 阪神南ふるさとづくり応援事業 『猪名の里・田園都市構想』 ①阪急園田駅前ロータリーの可能性 『阪急園田駅周辺まちづくり』 ②猪名川・藻川河川敷の活用 ⇒親水公園を提案 ③猪名川自然林の保全と活用 ⇒野外文化施設を提案 [生物館・音楽堂・アスレチック公園] ④園田競馬場の活用 ⇒防災拠点と乗馬センターを提案 ⑤農業水路・治水池等の活用 ⇒ビオトープ公園を提案 ⑥阪急神戸線高架の可能性 ⇒南北のコミュニティ・交通の流動化 ・内水氾濫の軽減化	当委員会	

事業報告	年	月	日	場 所	実施（研修）内容	地域団体	参加者
令和	2	3	4	東園田町 総合会館	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習会：園田駅前道路整備 ⇒道路整備の経緯と進捗状況 ⇒整備計画の最新図面の説明 ● 参加者との質疑・応答内容 ①阪急園田・豊中線接続の予定 ⇒駅前接続2022年3月末完成 ②信号や横断歩道の位置計画 ⇒県警や関係各所・地域と協議 ③商店街への歩行者動線確保 ⇒計画案を基に今後協議検討 ④駅前・ロータリー整備の意図 ⇒園田・豊中線接続と駅前整備 ⑤歩行者等の交通・安全を重視 ⇒計画案推進の際の重要課題 ⑥バス停・自転車置場を要計画 ⇒阪急・阪神側との協議を予定 ⑦園田駅の周辺・環境を要整備 ⇒北側駅前道路整備計画・推進 ● まちづくりアンケート実施 ● 阪急園田駅周辺まちづくり協議会を設立 ⇒常任理事会の承認 ⇒理事会の承認 ● 今後の活動（呼掛）の主体『阪急園田駅周辺・協議会』 ⇒総会の準備 	商友会 道路整備 都市計画 地域産業 地域課 市議員 市議員 市議員 市議員 商店会 商友会 園田活性化 逸品研究会 まちづくり 町会四丁目 町会五丁目 町会九丁目 (株)ハヤマ 富村ビル 四丁目地主 法界寺農会 穴太農会 町会八丁目 (株)ハヤマ 五丁目地主 五丁目店主 五丁目地主 富田町会 園和連協 委員会 事務局	松本光泰 森田係長 佐田担当 藤井課長 岩佐係長 牧 担当 遠藤担当 牛丸担当 辻 信 行 中尾健一 西藤彰子 広瀬若菜 上田幸治 野村剛志 園田祐也 松井尚照 ⇒川内氏 坂田廣武 水口健三 祇 園 三 千 代 長 尾 緑 山本和弘 富村安以 生島幸哉 高木史雄 田中栄一 山田勝司 葉山彰子 葉山幸泰 土居知行 上田耕作 古 谷 慎 太 郎 徳永吉昭 徳永成昭 時水繁勲 坂口 勲 堀江一郎 松永和子 梶浦利美 村田和之 石川誠一
			11	東園田町 総合会館 1F	<ul style="list-style-type: none"> ● 第1回常任理事会 開催 ⇒出席者〔役員を承認〕 上田（会長）・野村（副会長）・ 坂田（会計）・松井（書記）・ 祇園（5丁目）・長尾（9丁目）・ 山本（ハヤマ）・土居（ハヤマ） 松本（相談役）・坂口（顧問）・ 村田（事務局） ● 理事会・総会の延期を決定 ● 園田駅周辺環境⇒駅前交通 歩行者動線⇒①平面②立体 ③近隣商用地のまちづくり 		

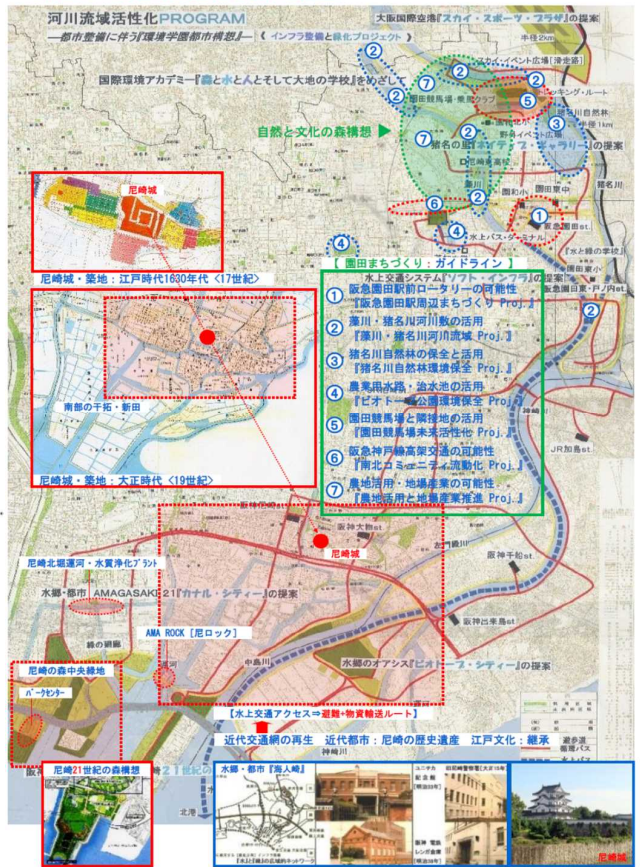
事業目標達成度合

目標達成	<ol style="list-style-type: none"> 1. 企画・提案書（コンセプトシート）+ガイドマップ追加印刷⇒1, 000部 2. まちづくりアンケートの実施（提案の公募は未達成） 3. 官民への周知⇒尼崎市地域課と連携・阪急園田駅周辺まちづくり協議会設立 4. 企業・商店等との協働呼掛け⇒阪急電鉄・尼崎信用金庫・地元地権者（商店街）
------	---

【事業の実施状況が分かる写真】



『魅力ある園田のまちづくり・グランドデザイン』 —猪名の里・園田都市構想：Garden City Movement—



<p>事業効果</p>	<p>① 水害対策と具体的な非難行動の未周知、防災拠点の不在 ⇒新たなコミュニティ会館（東園田町会総合会館）改築工事の事業化と計画支援</p> <p>② 阪急園田駅前及びその周辺環境・インフラ等の未整備実態 ⇒『阪急園田駅周辺まちづくり協議会』設立に際しての協力及び運営の支援継続</p> <p>③ 豊かな自然環境：自然林・河川・農地や歴史遺産等地域特性が活かされていない ⇒藻川河川敷の環境保全と活用で、ビオトープ公園等の試案とその可能性を検討 ⇒猪名川自然林と園田競馬場の間で乗馬（クラブ）センターの事業化を検討開始</p> <p>上記園田地域の三つの課題を周知し、五つのプロジェクトを始動。地域の商店や学校関係、協力企業等との連携を模索、観光の視点でまちの賑わいをプロモート。 官・民双方の効率的な公共サービスへの理解と周知、都市機能の補充と分担を検討する等、園田地域の広域的連携と共生を考える事で、コンパクトにして住みたいまち・園田モデルの協働提案を目指す。今後更なるまちづくり情報の発信・充実を図る中、まちの将来像の検証に向けて、段階的に取組む。（⇒企画・プロデュース）</p>												
<p>今後の展望</p>	<p>● 将来のまちづくりに夢と期待が持てるアイデアから、実現に向けた今後の活動のプロセスを楽しめるリアルな社会貢献と地域活性化に期待が持てる。</p> <p style="text-align: center;">「都市計画」と「まちづくり」の連続的一体化</p> <p>都市計画：尼崎市園田地区で、社会的活動を安全に、能率的に、かつ快適に行えるように、必要な空間を合理的に構成し、実現を図る技術[行政施策]。 【①土地利用計画・②施設計画（交通・公園緑地・供給処理施設・公共公益施設）】</p> <p>まちづくり：公共施設・住宅・道路・公園・河川敷等を地域社会の中で総合的に計画・デザイン・運営して行く手法。 【目的：①防災②福祉③道路・公園④景観⑤環境[水と緑]⑥教育[子育て]⑦住宅】 【手法：①住民・地権者主体②身近な生活環境の整備③持続性④地域性重視 ⑤総合性⑥パートナーシップ⑦個人・団体の啓発】</p> <p>● まちなみ・景観の保全に関する制定やルール[協定]づくり ● エリア・マネジメント⇒多様な地域形成と活性化を図る/担い手をサポート 地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させる為の、住民・事業主・地権者による主体的な取り組み。</p> <div style="text-align: center;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">2017年度</th> <th style="width: 25%;">2018年度</th> <th style="width: 25%;">2019年度</th> <th style="width: 25%;">2020年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">ステップ1</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">まちづくり学修会 ワークショップ</div> </td> <td style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">ステップ2</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">まちづくり学修会 ワークショップ</div> </td> <td style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">ステップ3</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">まちづくり提案 行政・市民 双方の理解・周知</div> </td> <td style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">ステップ4</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">まちづくり実践 行政・市民 双方の理解・周知</div> </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">① 防災マップ ② ガイドマップ ③ グランドデザイン ⇒ まちづくり ・ガイドライン</div> </td> <td style="vertical-align: top;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">避難所周知⇒効率的避難誘導⇒体制・コミュニティ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">地元自慢⇒商店・学校・企業連携⇒地域プロモート</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">公共サービス⇒都市機能補充・分担⇒広域的連携・共生</div> </td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </div>	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">ステップ1</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">まちづくり学修会 ワークショップ</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">ステップ2</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">まちづくり学修会 ワークショップ</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">ステップ3</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">まちづくり提案 行政・市民 双方の理解・周知</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">ステップ4</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">まちづくり実践 行政・市民 双方の理解・周知</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">① 防災マップ ② ガイドマップ ③ グランドデザイン ⇒ まちづくり ・ガイドライン</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">避難所周知⇒効率的避難誘導⇒体制・コミュニティ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">地元自慢⇒商店・学校・企業連携⇒地域プロモート</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">公共サービス⇒都市機能補充・分担⇒広域的連携・共生</div>		
2017年度	2018年度	2019年度	2020年度										
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">ステップ1</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">まちづくり学修会 ワークショップ</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">ステップ2</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">まちづくり学修会 ワークショップ</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">ステップ3</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">まちづくり提案 行政・市民 双方の理解・周知</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">ステップ4</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">まちづくり実践 行政・市民 双方の理解・周知</div>										
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">① 防災マップ ② ガイドマップ ③ グランドデザイン ⇒ まちづくり ・ガイドライン</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">避難所周知⇒効率的避難誘導⇒体制・コミュニティ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">地元自慢⇒商店・学校・企業連携⇒地域プロモート</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">公共サービス⇒都市機能補充・分担⇒広域的連携・共生</div>												

事業報告書

事業名	Listen! Look and do it! きいて・みて・やってみよう! 参加型・体験型コンサート
団体名	全国生涯学習音楽指導員協議会兵庫支部
活動地域	① (西宮) 市 2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町:)
協働団体	
事業の 目的・趣旨	楽器体験ができる、楽器持参により演奏に参加できる参加型・体験型コンサートを催すことにより、地域の人々に従来とは異なる音楽の楽しみ方を提案する。また、入場に年齢制限を設けないことにより、多世代が交流できるイベントにする。
事業内容	参加型・体験型コンサート 1 明石フィル弦楽四重奏団による弦楽四重奏 2 御影高等学校箏曲部による箏演奏 3 ヴァイオリンと箏の体験コーナー 4 ポピンズ&トロイントメントによる鍵盤ハーモニカ演奏 5 全員で「聖者の行進」を演奏 6 「パプリカ」ダンスを踊ろう

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	2019	9	8	大手前大学夙川キャンパスフォーラムホール	1 明石フィル弦楽四重奏団による弦楽四重奏 2 御影高等学校箏曲部による箏演奏 3 ヴァイオリンと箏の体験コーナー 4 ポピンズ&トロイントメントによる鍵盤ハーモニカ演奏 5 全員で「聖者の行進」を演奏 6 「パプリカ」ダンスを踊ろう	11	143
目標の達成状況	目標参加者 150 名に対し、実際の参加者は招待を含め 143 名で、ほぼ達成された。						
事業効果	<p>今回のコンサートは「演奏への参加」「ヴァイオリン・箏の体験」を通して、地域の人々が音楽への興味関心を持ち、楽器演奏、また仲間でのアンサンブルなどへの参加を促し、音楽による交流へのきっかけとなった。</p> <p>小学生から子育て世代、お年寄りの方まで、幅広い層が参加し、演奏体験、演奏参加をしたことで、お互いを理解・尊重しながら異世代間の交流を行うことできた。</p>						
今後の展望	<p>来年度も継続して「体験型・参加型コンサート」を行い、音楽による地域の活性化に貢献したい。体験楽器は「ファイフ（横笛）」、「和太鼓」を考えている。</p> <p>資金面では協賛・寄付を募り、補助金に頼らない事業運営を目指す。</p>						

【事業実施状況を示す写真、チラシ等】



事業報告書

事業名	おろいちで朝活！朝マルシェ
団体名	西宮市卸売市場朝マルシェ実行委員会
活動地域	① (西宮)市 2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町：)
協働団体	西宮市役所・西宮流・にしのみや洋菓子研究会・Le Lian 絆～食楽
事業の 目的・趣旨	<p>本事業では、西宮市卸売市場のオープンスペースを有効活用した「朝マルシェイベント」の開催により、以下3つの目的を実現する。</p> <p>1) 市民が市場に足を運ぶ新たな機会創出による西宮市卸売市場の認知度向上 2) 市場青果を使用した健康的な朝食の提供による市場の魅力発信 3) 市民が家族と朝の休日を楽しむことの出来る豊かな時間の提供</p> <p>上記により、1) 地域資源としての卸売市場の役割を市民に伝え、市民にとってより親しみがあり、地域の資源として活用される卸売市場づくりを進め、2) これまでにない、朝の時間帯を使った市民イベントの開催による JR 西宮駅周辺地域の新たな賑わいづくりを進める。</p>
事業内容	<p>1 『ル・リアン 絆～食楽』との連携により、西宮市卸売市場から卸された青果を使用した商品の販売。</p> <p>1) 「お惣菜3点セット」 青椒/るこら・るっこら/兵庫栄養調理製菓専門学校 2) 「淡玉キッシュ」 るこら・るっこら 3) 「出汁巻き卵」 だしの店 つみ木 4) 「Sri Lanka カレー」 リトル ランカ</p> <p>2 『にしのみや洋菓子研究会』との連携により、普段はイベント等で一堂に会することはない西宮市の洋菓子4店舗の詰め合わせ商品の販売。 各店舗 25セット 4店舗合計 100セットの数量限定販売。 兵庫栄養調理製菓専門学校による特製パウンドケーキの数量限定販売。</p> <p>1) パティシエ エイジ・ニッタ 2) パティスリー ベルン 3) 西北菓子工房 シェ イノウエ 4) パティスリー アトリエタケ 5) 「日本酒パウンドケーキ」 兵庫栄養調理製菓専門学校</p> <p>3 直接のレクチャーを受けた関西学院大学の学生が人気コーヒー専門店の味を再現し、</p>

	<p>その場で提供。</p> <p>「淹れたてコーヒー」 ゆげ焙煎所</p> <p>4 西宮市公認の観光キャラクター「みやたん」との写真撮影会。 野菜スタンプやミニトマトすくい等の卸売市場ならではのワークショップ体験。 イートインスペースを設け、市場内の懐かしい昭和の風景や心地よい空間の中で家族・友人との時間を過ごしてもらう。</p>
--	--

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	19	9	13	西宮市卸売市場 連合会事務所	朝マルシェ実行委員会 (広報計画・配置案・ ワークショップ)	9名	13名
	19	9	30	兵庫県阪神南 県民センター	補助金資料提出	1名	
	19	10	2	西宮市卸売市場 連合会事務所	朝マルシェ実行委員会 (前日準備の流れ・ 販売個数の確定・ 当日のアンケート集計)	9名	
	19	10	17	関西学院大学	当日参加スタッフ 概要説明	4名	
	19	10	18	西宮市卸売市場 連合会事務所	朝マルシェ実行委員会 (備品リスト・当日の流れ・ 広報経過・アンケート案)	9名	
	19	10	30	西宮市卸売市場 連合会事務所	朝マルシェ実行委員会 (雨天時/混雑時対応・ 各店舗売上目標)	9名	
	19	11	2	西宮市卸売市場	前日準備 (装飾・配置)	9名	
	19	11	3	西宮市卸売市場	朝マルシェ開催	28名	

	19	11	6	西宮市卸売市場 連合会事務所	反省会・打ち上げ	9名	
目標の 達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・開催日時：2019年11月3日9:00～14:00開催 ・入場者数：約700人(見込み) ・当日スタッフ：28名(実行委員会メンバー9名・ゼミ生スタッフ13名・兵庫栄養調理製菓専門学校スタッフ5名・市場関係者1名) ・売り上げ：日本酒パウンドケーキ 10,000円(1,000円×10個) 洋菓子詰め合わせ 100,000円(1,000円×100個) 淹れたてコーヒー 18,400円(200円×92杯) ミニトマトすくい 11,300円(100円×113名) ・第2回イベントの開催時期は未定であるが今回、重大な失敗や大幅な改善点は生じなかったため基本的には第1回に沿った企画・運営が展開出来る見込み。 ・次回の開催時に更なる発展を遂げるため、反省会(19/11/6)にて1)収穫事項 2)改善事項を洗い出し引き継ぎ書へ集約した。 						
事業効果	<p>西宮市卸売市場で学生・行政・市場関係者・飲食関係者を巻き込んだ朝マルシェイベント実施による効果としては以下4点が考えられる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 西宮市卸売市場の1)知名度向上と2)地域資源としての可能性の発掘 →1)新聞・ラジオ・SNS等の広報を通じ、「初めて西宮市卸売市場へ足を運んだ」との意見が挙がった。 →2)自らが出店者側として「次回以降には手作り市を出店したい」との意見が挙がった。 <p style="text-align: right;">(来場者アンケートより)</p> 2 朝の時間帯を使った市民イベントの開催によるJR西宮周辺地域の新たな賑わいづくり →1)イベント開始前に50名以上の行列が出来る等、当初の予想を大幅に上回る来場者数を記録した。 →2)「朝」の時間帯に開催されるイベントが少ない西宮地域において、今回のイベントが楽しかった(とても楽しかった+まあまあ楽しかった)と回答した来場者は全体の94%に上った。 また、西宮市卸売市場における同様のイベントに今後も参加したい(とても参加したい+参加したい)と回答した来場者は全体の98%に上った。(来場者アンケートより) 3 朝活による市民の健康意識の向上 →次回以降、「健康」をテーマとしたイベントを開催してほしいとの意見が全体の20%から挙がった。 4 イベント開催準備に伴う、学生・行政・市場・飲食業界などの新たなネットワーク構築 →今回のイベント開催を通じ、特に「学生×飲食業界」「市場×飲食業界」における新たなつながりが創出されたことに加え、相互の関係性が強固となった。 来場者だけでなく、イベント出店舗や市場関係者からの、継続的な朝マルシェイベントの開催や次回以降の出店希望、次回イベントにおける販売個数の拡大等、前向きな声が多数であった。 市場自体が自らの有する「可能性」に気づくことが出来たといえる。 						
今後の展望	<ol style="list-style-type: none"> 1)市場関係者を中心としたイベント規模の拡大 →市場外からの出店を増やすだけでなく、まずは市場内からの出店を増やす。 今回のイベント時(市場は休場日)に、市場内店舗で営業していたのは1店舗のみであったため。 少しでも多くの市場内関係者が、市民との交流を図ることの出来る場を創出する。 2)Instagramを中心とした広報による更なる市場の魅力発信 						

→現在開設している Instagram アカウントより、市場の魅力を少しでも多くの市民へ発信する。

イベント開催中でなくても、日頃から市場に市民が立ち寄りたくなるような魅力を伝える。

今回のイベントにおいても、SNS (Facebook+Instagram) をきっかけに参加したと回答した来場者は全体の 20%に上った。(来場者アンケートより)

3) 「家族・親子」で楽しむことの出来る場を提供

→今回のイベントにおいては大人向けのフードメニューが大半であった。

そこで、上記の反省から「子ども向けメニュー」を提供出来る店舗を増設する。

また、テイクアウト商品を増やしイートインスペースを増設することで、家族や友人と共に食事をしながら和やかに語らう空間を提供する。

【事業実施状況を示す写真】



事業報告書

事業名	RUN 伴 2019 芦屋
団体名	芦屋市介護福祉士の会
活動地域	① (芦屋) 市 2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町 :)
協働団体	NPO 法人認知症フレンドシップクラブ、RUN 伴兵庫 2019 実行委員会
事業の 目的・趣旨	認知症の人と家族会、認知症サポーター、医療福祉関係者、一般市民へ広く呼びかけて、思いを繋ぐたすきリレーを知ってもらい、無理のない参加方法を選んで、認知症の人とコミュニケーションをとる機会を持つことで、認知症の理解を深め、認知症の人と一緒に、誰もが暮らしやすい地域を創る。
事業内容	<p>RUN 伴 2019 芦屋(11/2)のイベント</p> <p>神戸市からの襷を芦屋の中継地点3か所を経由して、西宮市の施設へつなぎ、阪神南地域の最終ゴールの西宮市で交流する。</p> <p>事前にチラシを作成し、2週間前に芦屋市内の掲示板25か所に張り出した。同時にアイザワ証券芦屋支店と hanare 芦屋にのぼりと募金箱を設置、芦屋市発行の認知症関係資料を置いた。</p> <p>・ リード芦屋(10:00~13:00)</p> <p>神戸からのたすきの受け取り場所としてリードあしやの交流スペースを利用した。当日に開催の災害対応セミナー担当者に、事前に協力を依頼し快諾頂いた。事前打ち合わせで、12:30 予定のたすき受け渡しは、災害対応セミナーで使用する交流スペースを一時借用させていただくこととなった。</p> <p>当日は午前中に災害対応セミナーにスタッフ4名とランナー6名が参加した。災害対応も認知症の人の生活も「日常が大切」という点で共通しており、災害対応セミナー内でも、時間をいただき「RUN 伴 2019 芦屋」について説明した。</p> <p>12:25 神戸市からのランナー5名到着し、交流スペースでたすきの受け渡しを行った。</p> <p>12:30 芦屋のランナー8名で市内のたすきリレースタート。</p> <p>参加者名記入用のたすき数本をそんぽの家香櫨園へ届けた。</p> <p>自転車でアイザワ証券芦屋支店へ先導した。</p> <p>参加者数 40 名 : 13 名(走者)+27 名(応援)</p> <p>・ アイザワ証券芦屋支店</p> <p>通りがかりの市民への啓発とランナーの水分補給中継点とした。</p> <p>12:35 神戸市のランナー3名が合流のため到着。</p> <p>12:41 リードあしやからランナー8名到着。</p> <p>12:48 ランナー11名でリレー再スタート。</p>

<p>参加者数 17 名 : 11 名 (走者)+6 名 (応援)</p> <p>・ nomane/hanare 芦屋 事前に施設の方に手旗の作成を依頼し、ランナー、応援者との交流を行った。 13 : 00 ランナー11 名到着、施設の利用者が手旗を振って歓迎、応援歌と一緒に歌い交流した。 13 : 10 芦屋から西宮へそんぼの家香櫨園へのリレースタート。 参加者数 34 名 : 11 名 (走者)+23 名 (応援)</p> <p>・ そんぼの家香櫨園 13 : 15 芦屋からたすきリレーランナー11 名到着。 13 : 22 そんぼの家のランナー4 名と共に最終ゴールを目指しスタート。 参加者数 30 名 : 15 名 (走者)+15 名 (応援)</p> <p>・ 西宮総合福祉センター 13 : 45 阪神南地域の最終ゴール、西宮総合福祉センターに到着。 神戸を含む阪神南地域が合流、ボッチャで交流した。 14 : 00 ボッチャ大会に参加し B ブロックで優勝した。</p> <p>RUN 伴兵庫 姫路ゴール (11/3) のイベント参加 12 : 30 姫路駅前～姫路城ウォークに参加 15 : 30 姫路城シロトピア記念公園 兵庫県各市町からゴール</p>

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	19	9	3	神戸市民福祉交流センター	阪神南ブロック打ち合わせ	20	
			25	リードあしや	災害セミナーとの打ち合わせ	1	1
		10	1	リードあしや	芦屋市チラシ作成	2	1
			20	アルス芦屋	スタッフ打ち合わせ	3	
			23	芦屋市社会福祉協議会ほか	関係団体チラシ配布依頼	4	
					芦屋市掲示板チラシ張り出し	4	
		11	2	リード芦屋	災害対応セミナー参加	4	8
				リードあしや	神戸市からたすきの受け取り	4	
				芦屋市内	芦屋市内たすきリレー		16(走者)
				nomane 芦屋	利用者との交流		50(応援)
				そんぼの家香櫨園	西宮市へたすきリレー	1	10(走者) 15(応援)
				西宮総合福祉	阪神南ブロックゴール、交流会	3	8(芦屋)

		センター 姫路市内 姫路城 事務所 事務所 nomane 芦屋 1 25 そんぽの家新 長田	兵庫県たすきリレーゴール 振り返り会 記録 PPT 作成 報告会 RUN 伴兵庫報告会	1 5 3 4 1	60(他市) 1(走者) 30(他市) 60(他市)
目標の 達成状況	(目標)参加人数 (実績)参加人数 ・リードあしや ・アイザワ證券 ・nomane/hanare 芦屋 ・そんぽの家香櫨園	スタッフ 5 名 スタッフ 5 名 40 名 : 13 名(走者)+27 名(応援) 17 名 : 11 名(走者)+6 名(応援) 34 名 : 11 名(走者)+23 名(応援) 30 名 : 15 名(走者)+15 名(応援)	参加者総数 65 名 : 15 名(走者)+50 名(応援) 参加者総数 84 名 : 21 名(走者)+64 名(応援)		
事業効果		<ul style="list-style-type: none"> ・事前にチラシを配布し周知したことで、たすきリレーの応援に芦屋市社会福祉協議会、認知症の人と家族の会、芦屋市役所から参加があり、福祉関係団体の周知については大きな効果があった。 ・リードあしやの交流スペースをたすき受け渡しの会場とし、災害対応セミナーの協力を得られたため、応援参加者の目標数を大きく上回り、一般市民の周知について大きな効果があった。 ・地域密着型施設の利用者との交流では、募金等事前準備を含めて、利用者や家族、施設周辺の市民に、認知症の人と共に地域づくりを進めることへの周知について意識向上に効果があった。 			
今後の展望		<ul style="list-style-type: none"> ・活動開始の時期を早め、認知症サポーター養成講座での周知活動を行い、オレンジリングを取得している認知症サポーターの活動の機会となるようにしたい。 ・施設利用者からランナーとして参加してみたいとの声があり、認知症の人が主体となって、応援だけでなくたすきリレーに参加できるように考えたい。 ・補助金に頼らないよう、協賛団体募集や募金等工夫して実施したい。 			

【事業実施状況を示す写真】



事業報告書

事業名	異文化交流でつなぐ人の輪
団体名	芦屋 Tio クラブ
活動地域	1 (芦屋)市 2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町:)
協働団体	芦屋民話読みたい 長田教坊 杖鼓チーム
事業の 目的・趣旨	<p>1. 福祉施設で暮らす高齢者や地域住民と交流を図り、ふれあいを通して人の輪と絆を繋ぎます。交流会では音楽や地域を題材としたすごろくやかるたで遊ぶ時間を設け、世代間交流と昔遊びや民話など地域文化の継承を図ります。</p> <p>2. ワークショップでは、演奏と弾き語り、地域の伝承などを学び、地域で活躍できる音楽ボランティアを養成します。人材豊富なシニア層の人達が趣味や生涯学習や生きがいとして特技・技能を磨き、積極的にボランティア活動に参加し地域文化の継承や地域活動の活性化など地域力として地域社会に貢献します。</p>
事業内容	<p>1. 音楽ボランティア養成 二胡ワークショップ連続 10 回 日時:2019.10/10・24、11/14・28、12/5・19、2020.1/9・23、2/13・20 会場:集空間 Tio 参加者:102 名</p> <p>2. 絵本劇場 & ふるさと紀行上映 二胡コンサート & みんなで歌いましょう 日時:2019.10/8 参加者:48 人 会場:あしや聖徳苑 春日デイサービスセンター</p> <p>3. 芦屋三条エゴラドコーラスと交流会 二胡演奏 & お話 & みんなで歌いましょう 日時 2019.10/26 参加者:51 人 会場:三条集会所</p> <p>4. きらくえん倶楽部秋の文化祭 二胡コンサート 昭和の歌をあなたに 絵本劇場 & ふるさと紀行上映とみんなで歌いましょう! 日時:2019.11/22 参加者:38 人 会場:きらくえん倶楽部大榎町</p> <p>5. 異文化交流コンサート ボランティアを楽しもう! 韓国民族楽器チャングと二胡コラボ演奏 & 民話の語り 日時:2019.12/19 参加者:31 名 会場:集空間 Tio 協力:神戸 長田教坊 杖鼓チーム</p> <p>6. 冬の市民活動ふれあい市場「あんあーと」 日時:2019.12/21 参加者:45 人 会場:芦屋市民活動センターリード芦屋 ①クリスマス二胡コンサート 李亜輝 with 二胡合奏団ジャスミン ②「芦屋かるた」「阪神南の民話すごろく」で遊ぼう 昔の遊びを伝える ペンハムのコマを作って遊ぼう! 協力:芦屋民話読みたい</p> <p>7. 音楽ボランティア養成講座 二胡合奏団ジャスミン ワークショップおさらい会 日時:2020.2/27 参加者 15 名 会場:集空間 Tio</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ボランティア出前コンサートは中止・延期としました</p>

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	2019	10	随時 ～2	集空間 Tio	音楽ボランティア養成 ワークショップ	5	102
		10	8	春日デイサービス	絵本劇場、二胡演奏など	5	48
		10	26	三条集会所	音楽交流会	5	51
		11	22	きらくえんクラブ	秋の文化祭	6	38
		12	19	集空間 Tio	異文化交流コンサート	4	31
		12	21	リードあしや	クリスマスコンサート	13	45
		1	20	集空間 Tio	音楽ボランティア養成 ワークショップおさらい会	2	15
2月以降予定していたイベントは中止							
目標の 達成状況	<p>1、ボランティア養成の連続10回ワークショップはシニア層を軸に意欲的な取り組みとなった。受講者で音楽ボランティアグループを新しく編成して地域活動に取り組んでいる。</p> <p>2、器楽演奏、昔遊びや地域民話などの出前交流会がコロナ感染拡大防止対策で2020年2月以降の全イベント中止の為、参加者330名、スタッフ42名と集客数が目標を下回った。</p> <p>3、冬の市民活動ふれあい市場あんあーと(一芸)では他団体との協働でバラエティーに富むステージを展開したが参加者が少なかった。開催日や演目・広報・集客方法の検討が必要。</p>						
事業効果	<p>1、ボランティア養成講座で培った特技を生かす音楽ボランティアグループを新しく結成しました。交流イベントなど活力あるボランティア活動を展開し、地域力として社会貢献をしています。</p> <p>2、ふれあい出前交流会では、昔遊びやふるさと民話・皆で歌うなど参加型の内容が喜ばれた。「絵本劇場・ふるさと紀行」上映やかなるた・すごろく遊びで、思い出話をする高齢者の笑顔に癒され、ボランティアする人される人の絆に感動する心豊かな時間を共有できました。</p> <p>3、地域課題解決の仕組みづくりのあしや子ども笑顔ネットは2019年度芦屋市で活躍する個人、団体の支援として「芦人(ろまん)認定」を実施している。Tioクラブは「コンサート、昔遊び、災害関連と多岐にわたりエンターテインメントの宝庫」として芦人認定されました。体験の中で学び問題を発見し、新たな実践へ繋げていく繰り返しの大きな力になっています。</p>						
今後の展望	<p>1、生涯学習・仲間づくりの場としてボランティア養成講座を継続しボランティア人材を育てます。ワークショップでは地域の伝承や昔の遊びを学び、音楽や朗読・腹話術などのワザを磨き誰もが気軽に参加できる異文化交流で、多文化共生を考えるボランティア活動を実践します。</p> <p>2、「芦屋かるた・阪神南の民話すごろく・ふるさと紀行」などを活用し高齢者や地域住民とのふれあいや、住んでいる町を知る世代間交流イベントを実施します。また、地域で活動している他分野の団体と協働してスキルをあげ、魅力ある地域づくり活動の充実と活性化を図ります。</p> <p>3、新型コロナウイルス感染防止対策で交流会やイベントがすべて中止となりました。終息すればいち早く福祉施設や地域の人々に元気を届ける出前交流イベント再開の準備をしておきます。</p>						

【事業実施状況を示す写真】



兵庫県阪神南県民センター 県民交流室 県民・産業振興課

〒660-8588 尼崎市東難波町 5-21-8

TEL: 06-6481-7641 / FAX: 06-6482-0579